

家の光ご担当者様、営農・農政ご担当者様

日ごろより、本会事業にお取り組みいただき、まことにありがとうございます。
『地上』2022年8月号企画のご案内を送付させていただきます。ぜひとも普及活用いただきますようお願い申し上げます。



8月号の ご案内

JA青年組織、JA役職員の
学習研修会に『地上』の活用を！

定価（税込）
普通月号・・・・・・・・・・618円
付録月号（4・11月号）・・・680円



カラー新連載

EXILE USA JA青年組織盟友を訪ねる旅 ——食農応援プロジェクト

農業就業人口の減少が大きな課題になっているなか、JA青年組織のメンバーは、これからの地域や農業を支える重要な担い手です。しかしながら、各地で若い世代が農業や地域づくりに熱く取り組んでいることを知らない一般消費者も少なくありません。そこで、「農業があらゆるものの根本であり、たいせつなものである」と語るEXILE USAさんと全国各地のJA青年組織盟友とが融合する連載企画を『地上』で掲載し、地域の農業や人（青年農業者）の魅力、JA青年組織活動などの熱き活動を、USAさんの言葉で発信し、地域住民や一般消費者、若い世代、異業種のみなさんに伝える企画をめざします。

○USAさんが毎号1つの都道府県の青年組織を訪ねます。

○青年組織盟友たちはそれぞれの農業の現場や地域の農産物の魅力、さらにJA青年組織としてどんな活動をしているのかを地域を巡回しながらUSAさんに伝えます。

○盟友たちが伝える魅力や思いと、それを聞いたUSAさんの気づきや思いを文章でまとめ、実際に現場を訪ねて見て回るUSAさんと青年組織盟友のやりとりを写真で撮りおろし、ルポルタージュ形式でまとめます。



現場発！ 盟You伝 長崎県JA島原雲仙青年部南串支部

JA青年組織のさまざまな活動を紹介する「盟You伝」。今回は今年のJA青年組織活動実績発表で最優秀賞を獲得した、長崎県雲仙市で「幻のジャガイモ」と呼ばれる“デジマ”の復活に挑んだJA島原雲仙青年部南串支部の盟友たちを紹介します。



“專業未滿”の農業

労働力不足解消のこれからのかたち

農業の人手不足解消に向け、農福連携や外国人技能実習制度などはこれまでも活用されてきましたが、副／複業として農業に取り組む人材の必要性について検討します。また、副／複業をきっかけに本格的な就農を果たした人などへの取材を通じて、今後の農業・地域の未来を展望します。



脱炭素化への道

平地の少ない日本では、太陽光発電の導入に限界があるといわれています。しかし、農村には、農地空間という膨大な資源が眠っています。その資源に着目したのが、太陽光パネルと作物が太陽光を分かち合うソーラーシェアリングです。千葉県匝瑳市での取り組みを取材しました。



今年の「地上」11月号には、学習に役立つ別冊付録が付きます！
今回のテーマは「統計」。
これからの農政や社会・経済を考えるさいに役に立つ統計資料を20個に厳選し、統計資料の“読み取り方”と“見せ方・伝え方”について解説します！

『地上』ウェビナーも開催中！！

連載企画の筆者を招き、誌面をテキストにウェブ会議サービス「Zoom」を利用して、講義や意見交換を行います。（参加費無料、定員50人）テキストとなる企画は、「小林国一の協同組合LABO」と「事業承継24時 みんなで世代交代の話をしよう」です。

農業経営やJA青年組織活動などに役立てませんか？
開催日時は『地上』とフェイスブックでご案内します。

「GOOD EARTH COLLEGE」と題したオンラインの公開講座も開催中！ ぜひご参加ください！

詳しくはコチラ





は創刊75周年を迎えました

ロゴの中にある「GOOD EARTH」とは？

誌名を決めるさい、最終候補に残っていたのは『大地』。審査会を経て『地上』に決まりました。「GOOD EARTH」とは、1947年の創刊当時、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の指示で英語表記を求められた名残です。本来「地上」を直訳すると「on the ground」などになりますが、それは適訳ではないとして、ノーベル文学賞を受賞したアメリカの女流作家、パール・バックの名作『大地』の原題である「The Good Earth」から拝借して名付けられました。



新連載

EXILE ÜSA
JA青年組織盟友を訪ねる旅

「農業があらゆるものの根本である」と感じ、ダンスを通じて人と人、人と農・食をつなぐさまざまな活動を行っているEXILEのÜSAさん。日本の農業や地域の文化をもっと知り、盛り上げていきたいと考えるÜSAさんが、毎月1つの都道府県のJA青年組織を訪ね、農業や食、地域の魅力、青年組織活動などを見聞きます。ÜSAさんの思いや気づき、JA青年組織とのふれあいをカラー6ページで届けます。

※タイトル・内容は変更することがあります。

わかりやすく、
おもしろく、
タイムリーで、



役に立つ雑誌

- 時々の農業・農政をわかりやすく伝えます
- 学習活動を応援します
- JA青年組織活動を伝えます



定価(税込)
●普通月号 618円
●付録月号(4・11月号) 680円

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

農業・地域・JAを担うリーダーの雑誌

地上 facebook



読者と編集部が交流する場、facebook。ぜひご覧ください!

『地上』は青年農業者の盟友であり、伴侶

1947年の『地上』創刊の辞には、「青年農業者の盟友であり、伴侶」として誕生したと書かれています。以来、75年にわたり青年農業者の営農と暮らしの向上、JA青年組織活動の活性化、協同組合運動の進展をめざし、共に歩んできました。創刊75周年を機に、農地と地域を未来につないでいこうとする青年農業者に“もう一歩”寄り添い、共に未来を描いていきたいと考えます。そのため、農業・農政の情報をインプットできる学習雑誌として、また、仲間との意見交換を促し、課題解決するための雑誌として、その歩みを進めていきたいと思えます。



『地上』編集長 上床 龍吾

○編集内容に関するお問い合わせは地上編集部へ
Tel 03-3266-9002 Fax 03-3266-9047
E-mail chi.jo.goodearth@mx1.alpha-web.ne.jp

○普及に関するお問い合わせは普及企画部へ
Tel 03-3266-9035 Fax 03-3266-9049
E-mail fukyu02@ienohikari.or.jp

6月17日(金)
までに

JAの「家の光」担当部署
にお申込みください!

